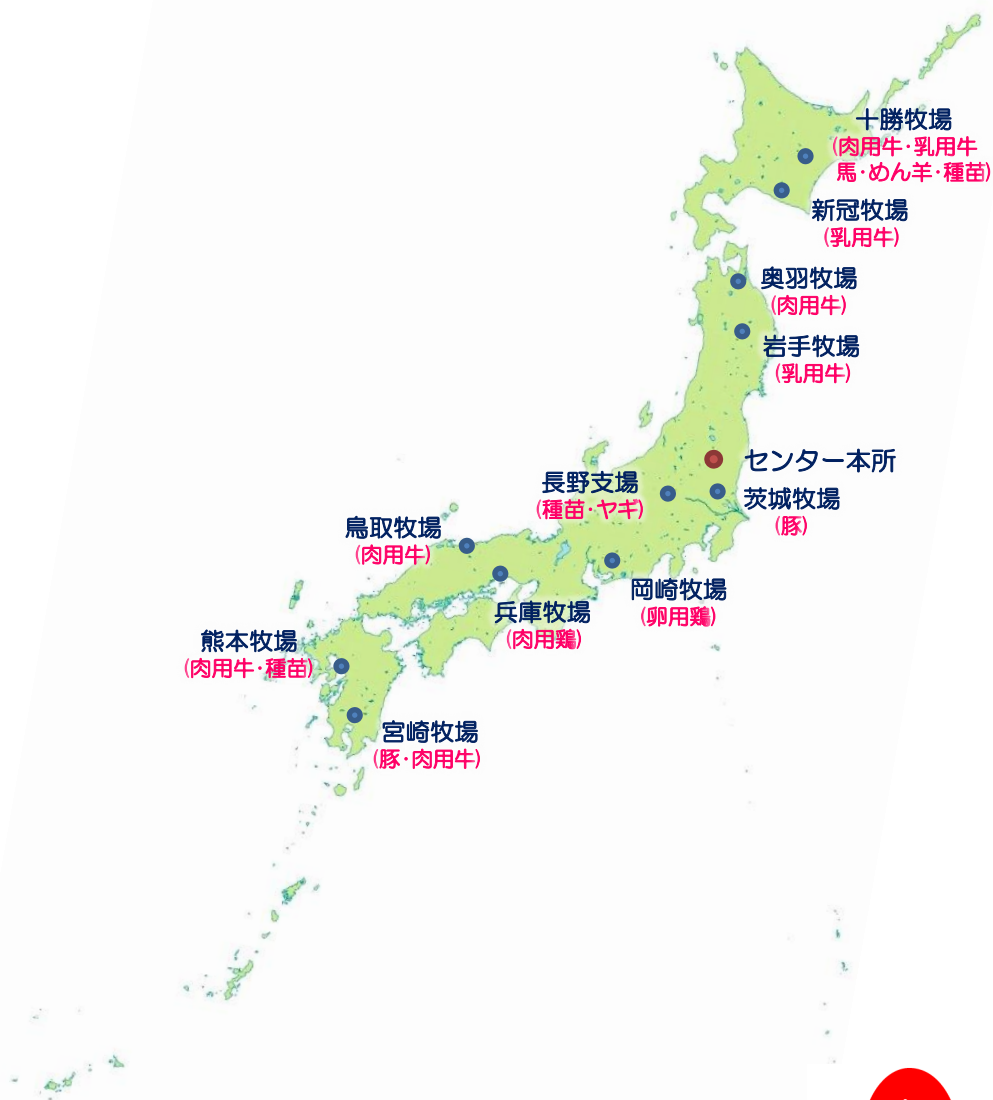


業務紹介  
パンフレット  
(獣医系職員)

# 独立行政法人 家畜改良センター

「日本の畜産 改良と技術で育てます」

家畜改良センターは、畜産の発展と国民の豊かな食生活に貢献することを目的とした、1本所10牧場1支場からなる、全国組織の独立行政法人です。



# 業務について

## 「小さなタネから大きなウシまで」

家畜改良センターの業務は多岐にわたります。

### ● 家畜の改良増殖の推進

- ・畜産物の需要の変化に応じた優良な種畜・種さん等の生産・供給
- ・遺伝的能力評価の実施
- ・種畜検査の実施
- ・家畜の遺伝資源の保存



宮崎牧場で造成したデュロック種系統豚「ユメサクラエース」



新冠牧場で生産した種雄牛「NLBC パルサバベツジ」

### ● 飼料作物種苗の生産・供給と検査

- ・日本の多様な気候に適した飼料作物種子及び種苗の生産・供給
- ・国際的な種子品種証明制度に基づく飼料作物種子の検査・証明



岡崎牧場で作出した「岡崎おうはん」



鳥取牧場で生産した種雄牛「光平栄」

### ● 畜産新技術の開発・実用化

- ・有用形質関連遺伝子等の解析
- ・食肉の食味に関する評価手法の開発
- ・繁殖関連技術の開発・実用化
- ・飼養管理関連技術の開発・実用化



指定種苗の発芽率検査



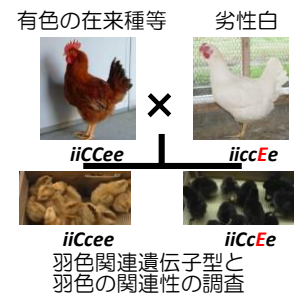
コンバインによる種子の収穫

### ● 牛トレーサビリティ業務 ● 法律に基づく検査

- ・全国の牛のトレーサビリティに必要な個体識別番号や出生異動履歴などの情報の管理、公表
- ・家畜改良増殖法に基づく立入検査
- ・種苗法に基づく指定種苗の集取・検査



耳標に印字された個体識別番号



### ● 技術の普及指導 ● 外部支援

- ・開発された技術の生産現場への普及のための研修会の実施、海外技術協力
- ・国内における家畜伝染性疾病や自然災害発生時等の外部支援・協力



飼料自給率向上のための研修会



緊急時における粗飼料等支援



# 獣医系職員 の業務 について

家畜を扱う家畜改良センターでは無くては  
ならない存在！  
獣医系職員が行う業務を紹介します。

## ● 防疫及び検査業務



近年の口蹄疫、高病原性鳥インフルエンザ等伝染性疾病への家畜防疫体制の強化が進められている中、高い衛生レベルが求められる種畜・種きを疾病から守り、我が国の育種改良を着実に進展させるため、徹底した防疫措置を行うためのマネジメント（衛生管理区域の設定・衛生状態の確保、洗浄消毒、病原体の侵入防止、ワクチネーション、職員への周知徹底等）の企画・立案・指導を行っています。

また、定期的な衛生検査を独自に実施するとともに、農研機構動物衛生研究部門の協力を得ながら確実なモニタリングを行っています。



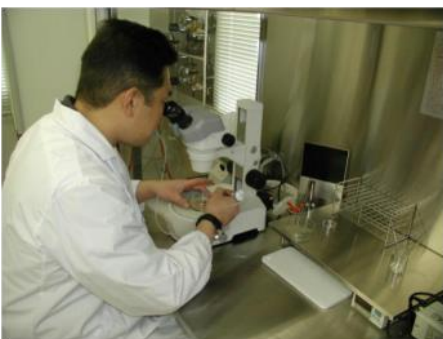
## ● 診療業務

我が国の家畜の育種改良に貢献している種畜・種きを飼養しているため、「安全な家畜・畜産物の供給」に配慮しつつ、貴重な育種素材が喪失することがないように万全の対応が求められることから、適切な診療のみならず、飼養管理上のアドバイスを行っています。

なお、一部の牧場では、一般の農家において診療する機会が少ない重種馬、種雄牛、めん羊・山羊など多様な家畜についても対応することが可能です。



## ● 繁殖関係の業務



我が国の育種改良を着実に進め新たな技術を普及させるため、牛ではOPU（生体卵子吸引）技術－IVP（体外生産）技術を活用した生産効率の向上や超音波診断による妊娠鑑定時の雌雄判別、豚ではガラス化豚胚を用いた外科的移植技術の向上などを行っています。

これらの高度な技術については、学会等での発表など情報提供するとともに、研修生の受け入れ、講習会の開催等も行っています。

## 先輩の声

家畜改良センターが行う様々な業務には、多くの職員が関わっています。各分野で活躍する若手職員を紹介します。

### 岡崎牧場 業務課 職員 (平成30年度採用)

様々な家畜と共に働くことができます。

私は採用後、岡崎牧場に配属され、衛生係として場内の防疫・衛生対策業務を担当しています。

養鶏現場では疾病の治療よりも、疾病が発生しないための予防対策が重要視されており、岡崎牧場でもヒナを中心としたワクチネーションや、外部からの病原体侵入防止対策をはじめとした様々な予防対策を行なっています。日頃から場員、来場者に協力をお願いしている防疫対策は面倒に思われることが多いため、その重要性を分かりやすく伝え、確実に実施してもらう方法を日々模索しているところです。

家畜改良センターでは実際に家畜と関わりながら働くことができ、鶏・牛・豚・羊・馬など様々な畜種を担当できる機会に恵まれています。また、研修への参加機会も多く、学びの場がたくさんあります。動物たちに囲まれながら、皆さんとともに働けることを楽しみにしています。



### 鳥取牧場 業務課 職員 (平成30年度採用)

幅広い業務をとおして、様々な経験ができます。

僕は鳥取牧場の衛生係として、黒毛和種の診療及びワクチンなどの獣医療の他、場内の防疫体制の強化や定期的な微生物検査などの衛生管理業務を行っています。

育種改良は遺伝的素因を最も重要視しているので、発育を阻害する環境要因、つまり傷病をいかに少なくするかが重要です。そのため、疾病の予防や早期治療はとても責任のある業務だと感じています。

また、家畜改良センター職員の一員として、獣医療以外の様々な業務の経験を重ねることができ、“牛を飼う”ということの奥深さを痛感しています。牧場には飼養管理や繁殖などの分野で経験豊富な職員が多くいるため、これらの分野についても日々勉強に事欠かず、自分の知識や能力の向上につながっています。

様々な魅力的な畜種たちと、それ以上に個性溢れる職員が皆さんをお待ちしています！





最新情報・詳細はホームページをご覧ください <http://www.nlbc.go.jp/saiyo/>

[見学申込み・お問合せ先]

〒961-8511

福島県西白河郡西郷村大字小田倉字小田倉原1番地

独立行政法人 家畜改良センター 総務部人事課 TEL：0248-25-2759（直通）